

「胸部外科」特集原稿募集

2026年1月号(79巻1号)において標記のテーマの特集を行いますので奮ってご応募ください。

テーマ

Stanford A型急性大動脈解離の外科治療

わが国のStanford A型急性大動脈解離の手術成績は、国際的なレベルからみて非常に優れていることが知られている。最近では、残存解離腔をできる限り残さないようにして遠隔期大動脈関連合併症を回避するための手技が一般化しつつある。Frozen elephant trunk法単独あるいはカテーテルステントグラフト併用、また特徴的な拡張力を有するベアステントにより真腔を拡張させて偽腔を閉鎖する方法など、いくつかの手技がある。

その一方で臓器灌流不全を伴う急性大動脈解離では、依然としてさらなる手術成績の改善が求められている。Central repairを先行させるのか、虚血に陥った臓器の再灌流を優先するのか、その判断基準は必ずしも定まっているわけではない。閉塞された主要分枝の再灌流法についても、さまざまな報告がある。さらに、Stanford A型急性大動脈解離は高齢者に多い疾患でもある。救命手術であるべきと同時に、どこまで根治性を求めた拡大手術を選択するのかは、外科医あるいは施設の有する経験とチームワークによるものが大きい。

Stanford A型急性大動脈解離の外科治療の進歩とともに、いまだ残された課題や適応基準(救命手術か拡大手術か)などについて、各施設のこれまでの実績・エビデンスに基づいた解析を通じた提言など、積極的な投稿をぜひともお願いしたい。

『胸部外科』編集主幹 小野 稔, 千田雅之

*

*

*

- **内 容**：臨床と研究，臨床経験などテーマに沿ったもの
- **応募方法**：予定タイトル，著者名，施設名，ミニ抄録を400字詰原稿用紙1枚に収めて**2025年5月30日(金)**までにお送りください(**E-mailでも構いません**)。
編集委員会で採否を決めさせていただきます，**2025年6月末日**までにご連絡いたします。
なお採用論文は下記のとおりご執筆をお願いいたします。
- **原稿枚数**：400字詰原稿用紙12枚以内(英文summaryを含む)，図表6枚以内
- **原稿締切日**：2025年8月29日(金)
- **掲載号**：『胸部外科』79巻1号(2026年1月号)

宛先：〒113-8410 東京都文京区本郷三丁目42-6 (株)南江堂『胸部外科』編集室
TEL：03-3811-7619 / FAX：03-3811-8660 / E-mail：pub-jt@nankodo.co.jp